成立学園
同窓会報
もろごえ Vol.6
令和７年10月27日発行
発行者：岩田耕三（会長）
発行所：成立学園同窓会

第2回「夏フェス」

高校1年D組担任
進路・企画推進部 阿達 祥
（平成18年度卒）

記念すべき創立百周年記念行事として昨年スタートした「夏フェス」が、今年も大盛況のうちに幕を閉じました。

第2回となる今回は、2025年7月26日に開催。昨年と同様、4月からの計画立案、企画、準備を経て実現した、まさに一大イベントです。

この成功は、ひとえに多くの方々のご協力の賜物です。

特に、昨年は東十条六丁目町会様の知恵と経験をお借りし、イベントを大いに盛り上げていただきました。そして、本行事に彩りを与えてくださったのが、地方創生プロジェクトでお世話になっている東伊豆市、笛吹市の皆様です。今年も両市のご協力のもと、特色ある出展や企画を通じて、夏フェスに華を添えてくださいました。

さらに、この行事を語る上で欠かせないのが、同窓会の存在です。同窓会の多大なるご協賛がなければ、この大規模なイベントの実現は困難でした。同窓生が母校の行事を支え、現役生がいずれその一員となる場を創出することは、学校コミュニティの未来にとっても非常に意義深いことです。

現役生とその保護者の皆様からも、例年以上に高い満足度をいただくことができました。

このように、多くの方々のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

この行事を単なるイベントとして終わらせるのではなく、来年度、再来年度と、さらなる進化を遂げられるよう大切に育ててまいります。引き続き、皆様の温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

雨宮 佑樹さん（平成18年度卒）
卒業生が運営するキッチンカーにも協力頂きました！

企業とコラボした商品開発！

考案してくれた高校生のコメント

成立学園中学・高等学校の探究クラスでは、自ら見つけた課題の解決に向けて、主体的・協働的に取り組む能力を身に着けるために、PBL型（問題解決型）学習を行っています。そのプログラムの一つとして、株式会社なとり様・日本薬科大学様のご協力のもと、新しいチーズ製品の開発ができることになりました。

私には将来起業家になりたいという夢があります。そのため、北区が主催する起業家講演に足を運び、目標達成の準備として探究活動を重ねていました。そんな折、担任の先生からこの取り組みの話を聞きました。私は驚きとともに大きな期待を感じました。実際の企業・大学と連携し、本物の商品開発に関わることができるチャンスは、まさに自分の探究活動の成果を生かす絶好の機会だと感じたからです。私はこのプロジェクトを通じて、自分のアイデアを形にし、多くの人に喜んでもらえる製品を作りたいという強い思いを抱きました。

私は陸上部に所属しており、毎日部活後に必要なタンパク質を摂るため、プロテインを飲みます。加えて、コロナ禍で高まった健康志向により、気軽に摂取できるタンパク質製品の需要が高まっていることを知っていました。そこで、同じグループにいた陸上部の仲間たちと共に「もっと手軽でおいしく、タンパク質を摂る方法はないか？」と話し合うことがあり、みんなで考えた結果おいしく気軽にタンパク質を摂取できる、「チープリティン」が生まれました。ちなみに、「チープリティン」とは、チーズ・プリン・プロテインを併せた造語です。

実際に私たちの「チープリティン」がプロジェクトの中で選ばれたとき、喜びと達成感が溢れました。同時に、自分たちのアイデアが形となり、多くの人に実際に手に取ってもらえるという現実に直面し、責任感を強く感じています。機能と味を兼ね備えたこの製品を、多くの人に食べていただきたいです。

北区の成立学園中学・高等学校の生徒たちが、「チーズ鱈」で知られる地元のおつまみメーカー「なとり」と若者向けのおやつを共同開発し、17日に北区役所で試食会が開かれた。プロテインが入ったプリン風味のチーズで、その名も「チープリティン」。ふっくらとした軽い食感が特徴だ。

共同開発は、企業と自治体などの連携事業に取り組む日本薬科大（埼玉県伊奈町）の仲介で実現した。昨年7月から、高校2年（現3年）の探究クラスの生徒約40人が、なとり社員を授業に招いて商品開発を学んできた。約40点を考案し、プレゼンテーション（発表）の結果、独自性が評価されてチープリティンの商品化が決まった。

生徒考案 チーズおやつ

成立学園×なとり プロテイン入り、プリン風味

チープリティンを考案した高校生ら（17日、北区役所で）

商品名は、チーズとプリンとプロテインを組み合わせた。陸上部に所属している生徒らが、「毎日部活後に摂取しているプロテインをもっと手軽においしく食べたい」とアイデアを出し、一口サイズの甘じょっぱいおやつに行き着いたという。北区役所で開かれた試食会で、考案者の一人、谷田真皓さん（17）は「プロテインが入っているので、運動部の人にたくさん買ってほしい」と話した。

チープリティンは1袋1793円（税込み）。28、29日に行われる同校の文化祭や日本薬科大のオープンキャンパスなどで販売されるほか、来年にかけて首都圏の小売店にも並ぶ計画という。同社の森岡康之執行役員は「従来のなとり製品は中高年がメインの購買層だったが、若い方に知ってもらうきっかけになると期待している」と話した。

讀賣新聞（2024.9.18）に掲載されました！

昨年の成立祭で販売されました！
※現在、市販（学校での販売も）しておりません

ホームラン記録

高橋　章
（昭和40年卒）

2023年の成立祭（文化祭）に学校を訪ねて来られた卒業生の高橋章さん（77歳）からご寄稿頂きました。

高橋さんは、小学生の頃から東京六大学野球を観戦するのが好きだったとのことで、現在も神宮球場に足を運び、ライフワークとしてホームランをノートに記録しているそうです。寄稿文と新聞記事、そして学校にお持ち頂いた「ホームラン記録ノート」の写真をここに掲載させて頂きます。是非ご覧ください。

毎年夏になると、野球大好き人間の私は、高校野球の地方予選、甲子園の本大会を観ることに大いに関心を持っています。成立学園の野球部には“二度目”の甲子園出場を目指して頑張って欲しいと思います。

私の趣味は東京六大学野球観戦です。神宮球場で選手紹介の時に選手名の後に「成立学園」のアナウンスを早く聞きたいものです。

実は私、この六大学野球の「ホームラン記録」を趣味でずっと付けております。

この話を慶應義塾大学の優勝祝賀会の時に出会ったスポーツ新聞の記者に話しましたところ、「特集記事を書きたい」と言われ、協力することになりました。

記録を調べるのは大変苦労しました。今は年間スケジュールがキチッと決まっているので調べ易いのですが、戦前の記録は検索するのが大変でした。

平日開催は当たり前で、同一球場ではなく、別々の球場で開催されるなど、とにかく不規則極まりない日程でした。そのような状態でしたので、仕方なく国立国会図書館で新聞の縮刷版を一頁ずつ見て調べるしかありませんでした。そのため、調査には時間がかかり、ノートに書き終えて「ヨシ、これで完成だ！」となったのは、調査開始から十年位かかりました。

大正14年（1925年）秋には大変嬉しく思いましたし、大げさな言い方かもしれませんが、自分が生きた証が残せたと思います。

私の学園生活は、第1次ベビーブームであり、生徒数が爆発的に増えていました。下校時になると、下駄箱付近に人が溢れ、通勤ラッシュの満員電車よりも凄まじく動くことも難しい状態となっていました。クラスは15クラス位あり、しかも1クラス60名ほど在籍していましたので1学年が1000人ほどの大所帯でした。

これだけの生徒が集まると、学校の方針と合わずに途中で退学する生徒もいましたが、私のクラスだけは奇跡的に一人も退学者がおらず1年生を終えることができました。3年生になると、担任の先生が小林好太郎先生になり就職を目指しました。私の前年までは企業側は人数確保のため応募すると「入社試験日はいつか」と言っている間に「合格通知」が送られてくることもあったと聞きました。私は幸いにも成績が少し上位に位置しておりましたので、比較的早い段階で、学内選考で希望通りの会社の入社試験を受けることができました。

卒業から60年近くが経ち、また同窓生の皆さんの顔を見たいと思っています。

ホームラン記録ノート

全本塁打調べた熱烈ファン楽しみ

リアル4000号は誰？

6.2早大・尾瀬ソロで現在

選手が描いた放物線…節目にあと4

『スポーツニッポン』
2024年9月14日（土）付

全本塁打数えた
熱烈なファンも喜び
高橋さん「東京六大学野球を愛する会」の会員・高橋章さん(76)は、一塁側内野席から節目の一発を見届けた。1000、2000、3000に続き、4000号も観戦。「ホッとしました。」
14日付の本紙を手にする高橋さん
○…リーグ戦全本塁打を数え上げてきた
記録をつけるようになってから常にホームランを期待している自分がいた」。43歳だった91年秋から国会図書館で本塁打記録を調査し、全本塁打の詳細を129ページのノートに記している。
父が見守る中
清原1得点貢献
＜慶大＞前日の開幕戦は無安打だった4番の清原は、4打数1安打1得点で勝利に貢献した。西武、巨人などで活躍した父・和博氏が観戦する中、4回に痛烈な中前打を放つと7番・真田の適時打で先制のホームを踏んだ。勝ち点の懸かるきょう16日の3回戦へ「1試合ずつ出し惜しみせず、貪欲にいくと決めている」と必勝を誓った。

『スポーツニッポン』
2024年9月16日（月）付

事務局からのお知らせ

「すぐーる」導入のご案内

成立学園同窓会では「すぐーる」を導入いたしました。「すぐーる」は、学校と保護者や地域の相互連絡システムの構築を目的として制作されたアプリケーションです。電話や紙を使わずに、スマートフォンから情報を受信できるアプリとなっております。数年前より学校での導入が始まり、その利便性・効率性の観点から、卒業生への情報発信ツールとして、今般同窓会でも導入いたしました。

「すぐーる」では、同窓会活動のご報告やご案内、学校行事等のご連絡など、様々な情報を卒業生の皆様にお届けして参ります。この機会に是非アプリのダウンロードとご登録を頂ければ幸いです。

詳細につきましては、事務局までお問い合わせ下さい。

ご寄稿文をお待ちしております！

事務局では卒業生皆様からのご寄稿文をお待ちしております。在学時の思い出や近況など、会報に掲載を希望される方は左記までご連絡下さい。

●連絡先●
成立学園同窓会事務局（成立学園内）
〒114-0001
東京都北区東十条6-9-13
TEL：03-3902-5494
FAX：03-3903-9549